

低 価 格 理 由 と そ の 詳 細 内 容

番号	低価格理由	低 価 格 理 由 の 詳 細 内 容
①	資材費(仮設材含む)の低減	主要材料を長年取引実績のある協力会社より安価で購入する。
②	労務費の低減	
③	機械経費の低減	
④	新材料・新技術	
⑤	作業効率の向上	
⑥	下請業者の協力	協力会社の単価を採用し、削減する。
⑦	経費の低減	営業所が近く、仮設事務所を必要としないため経費を節減できる。
⑧	現場管理費低減	営業所に対応するため、宿泊費・交通費・現場通勤費の往復ロスや運搬費等の経費を節減できる。
⑨	安全資機材低減	
⑩	本支店経費の低減	全社的に最大限の経費削減を行う。
⑪	利益の低減	
⑫	受注実績の取得	
⑬	売上の確保	
⑭	その他	

上表の「低価格理由の詳細内容」は、元請負者が入札時の事情聴取で申告した低価格理由を項目毎に分類して例示したものです。

比較表-1

積算内訳書の比較表

工事区分・工種・種別	単位	入札時					工事完成時					備考
		官積算(予定価格)※		元請(当初予定)		元請/ 官積 (%)	元請(完成時実績)		官積算(最終)※		元請/ 官積 (%)	
		数量	金額	数量	金額		数量	金額	数量	金額		
光ケーブル敷設工 本線	式	1	6,931,910	1	10,105,710	145.8%	1	4,809,480	1	7,212,524	66.7%	
光ケーブル敷設工 田中	式	1	246,582	1	331,548	134.5%	1	218,600	1	328,624	66.5%	
配管工	式	1	250,771	1	849,488	338.8%	1	1,290,370	1	704,259	183.2%	
通信配線工 本線	式	1	11,333,128	1	8,293,718	73.2%	1	6,429,230	1	11,865,210	54.2%	
電源配線工 本線	式	1	4,802,758	1	2,518,870	52.4%	1	1,757,320	1	5,033,741	34.9%	
直接工事費	式	1	23,565,149	1	22,099,334	93.8%	1	14,505,000	1	25,144,358	57.7%	
共通仮設費	式	1	2,141,300	1	908,500	42.4%	1	1,724,000	1	2,380,500	72.4%	
純工事費	式	1	25,706,449	1	23,007,834	89.5%	1	16,229,000	1	27,524,858	59.0%	
現場管理費	式	1	8,796,000	1	3,637,500	41.4%	1	9,343,000	1	9,344,000	100.0%	
工事原価	式	1	34,502,449	1	26,645,334	77.2%	1	25,572,000	1	36,868,858	69.4%	
一般管理費等	式	1	4,217,551	1	2,354,666	55.8%	1	5,128,000	1	4,481,142	114.4%	
工事価格	式	1	38,720,000	1	29,000,000	74.9%	1	30,700,000	1	41,350,000	74.2%	

記入要領

- 1) 見積り等積算根拠を示すものがあれば添付する。
- 2) 数量総括表に対応する内訳書にして下さい。
- 3) 入札時の元請(当初予定)欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認して下さい。
- 4) 工事完成時の元請(完成時実績)、官積算(最終)欄は、それぞれ調査票の直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等および工事価格と合致するか確認して下さい。
- 5) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

工事名

千歳大野道路外光ケーブル敷設工事

比較表-2

内訳書に対する明細書の比較表

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
通信設備	式	1	—	23,565,149	1	—	22,099,334	1	—	14,505,000	1	—	25,144,358	
有線通信設備工	式	1	—	23,565,149	1	—	22,099,334	1	—	14,505,000	1	—	25,144,358	
光ケーブル敷設工 本線	式	1	—	6,931,910	1	—	10,105,710	1	—	4,809,480	1	—	7,212,524	
光地中管内配線 SM-20C	m	8,540	710	6,063,400	8,540	1,050	8,967,000	8,621	500	4,310,500	8,621	710	6,120,910	
光地中管内配線 SM-8C	m	80	574	45,920	80	882	70,560	86	430	36,980	86	574	49,364	
クロージャ 直線	箇所	2	99,920	199,840	2	160,210	320,420	4	48,000	192,000	4	99,920	399,680	
クロージャ 分岐	箇所	3	116,800	350,400	3	179,620	538,860	3	55,000	165,000	3	116,800	350,400	
クロージャ 再組立材	箇所	1	60,150	60,150	1	73,210	73,210	1	9,000	9,000	1	60,150	60,150	
光クロージャ取付金物	組	2	19,820	39,640	2	15,000	30,000	3	17,000	51,000	3	19,820	59,460	
光ケーブル成端	箇所	3	27,970	83,910	3	10,000	30,000	3	5,000	15,000	3	27,970	83,910	
光ケーブル試験	箇所	3	29,550	88,650	3	25,220	75,660	3	10,000	30,000	3	29,550	88,650	
光ケーブル敷設工 田中	式	1	—	246,582	1	—	331,548	1	—	218,600	1	—	328,624	
光地中管内配線 SM-4C	m	143	474	67,782	143	826	118,118							
光地中管内配線 SM-8C	m							116	430	49,880	116	575	66,700	
光ケーブル撤去工 SM-4C	m	20	77	1,540	20	150	3,000							
光ケーブル撤去工 SM-2C	m							606	120	72,720	606	31	18,664	
クロージャ 直線	箇所	1	99,920	99,920	1	160,210	160,210							

1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。
 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

クロージャ 分岐	箇所							1	55,000	55,000	1	116,800	116,800	
クロージャ 再組立材	箇所							1	9,000	9,000	1	49,120	49,120	
光クロージャ取付金物	組	1	19,820	19,820	1	15,000	15,000	1	17,000	17,000	1	19,820	19,820	
光ケーブル成端	箇所	1	27,970	27,970	1	10,000	10,000	1	5,000	5,000	1	27,970	27,970	
光ケーブル試験	箇所	1	29,550	29,550	1	25,220	25,220	1	10,000	10,000	1	29,550	29,550	
配管工 田中	式	1	—	250,771	1	—	849,488	1	—	1,290,370	1	—	704,259	
ハンドホール設置	基	1	129,200	129,200	1	169,700	169,700	1	340,000	340,000	1	129,200	129,200	
地中埋設配管 FEP30	m	24	599	14,364	24	637	15,288	110	460	50,370	110	335	36,795	
作業土木(車道)	式	1	—	42,428	1	—	260,000	1	—	210,000	1	—	107,711	
作業土木(歩道)	式	1	—	59,143	1	—	364,500	1	—	600,000	1	—	407,630	
殻運搬処理(車道)	式	1	—	3,646	1	—	25,000	1	—	20,000	1	—	9,221	
殻運搬処理(歩道)	式	1	—	1,990	1	—	15,000	1	—	70,000	1	—	13,702	
通信配線工 本線	式	1	—	11,333,128	1	—	8,293,718	1	—	6,429,230	1	—	11,865,210	
地中管内配線 CPEV-S0.9-15P	m	7,570	1,127	8,531,390	7,570	765	5,791,050	7,631	500	3,815,500	7,631	1,127	8,600,137	
地中管内配線 CPEV-S0.9-10P	m	477	866	413,225	477	654	311,958	484	450	217,800	484	866	419,289	
地中管内配線 CPEV-S0.9-7P	m	406	806	327,357	406	580	235,480	414	420	173,880	414	806	333,808	
地中管内配線 CPEV-S0.9-5P	m	8	764	6,114	8	533	4,264	7	400	2,800	7	764	5,350	
地中管内配線 CPEV-S0.9-3P	m	692	466	322,679	692	440	304,480	1,331	380	505,780	1,331	466	620,645	
地中管内配線 CPEV-S0.65-5P	m	74	468	34,654	74	419	31,006	95	300	28,500	95	468	44,488	
地中管内配線 CPEV-S0.65-3P	m	318	438	139,379	318	380	120,840	351	280	98,280	351	438	153,843	
端子接続 10P以下	箇所	2	4,200	8,400	2	4,050	8,100	2	3,000	6,000	2	4,200	8,400	
端子接続 5P以下	箇所	41	2,800	114,800	41	2,700	110,700	42	1,000	42,000	42	2,800	117,600	
メタル用クロージャ 10P	箇所	3	23,110	69,330	3	28,800	86,400	3	24,750	74,250	3	23,110	69,330	
通信ケーブル接続 10P	箇所	2	13,300	26,600	2	24,050	48,100	3	20,000	60,000	3	13,300	39,900	

メタル用クロージャ 15P	箇所	22	26,610	585,420	22	29,470	648,340	24	24,750	594,000	24	26,610	638,640	
メタルクロージャ取付金物	箇所	21	16,780	352,380	21	15,000	315,000	23	15,000	345,000	23	16,780	385,940	
光メタルクロージャ取付金物	組	3	26,440	79,320	3	20,000	60,000	4	25,000	100,000	4	26,440	105,760	
非常電話銘板(110×20×2t)	枚	20	430	8,600	20	1,200	24,000	20	1,300	26,000	20	430	8,600	
非常電話銘板(300×80×1t)	枚	40	3,280	131,200	40	3,500	140,000	40	3,600	144,000	40	3,280	131,200	
保安器箱 10P	面	2	91,140	182,280	2	27,000	54,000	2	97,720	195,440	2	91,140	182,280	
電源配線工 本線	式	1	—	4,802,758	1	—	2,518,870	1	—	1,757,320	1	—	5,033,741	
地中管内配線 CV5.5mm ² -2C	m	1,970	728	1,434,751	1,970	428	843,160	2,331	250	582,750	2,331	728	1,697,667	
地中管内配線 CV3.5mm ² -2C	m	4,990	673	3,359,767	4,990	333	1,661,670	4,759	230	1,094,570	4,759	673	3,204,234	
ケーブル接続 分岐接続	箇所	1	8,240	8,240	1	14,040	14,040	16	5,000	80,000	16	8,240	131,840	
直接工事費	式	1	—	23,565,149	1	—	22,099,334	1	—	14,505,000	1	—	25,144,358	
共通仮設費	式	1	—	2,141,300	1	—	908,500	1	—	1,724,000	1	—	2,380,500	
共通仮設費	式	1	—	64,300	1	—	64,300	1	—	911,000	1	—	207,500	
安全費	式	1	—	64,300	1	—	64,300	1	—	911,000	1	—	207,500	
交通誘導員 A	式	1	—	14,600	1	—	14,600	1	—	120,000	1	—	58,400	
交通誘導員 B	式	1	—	49,700	1	—	49,700	1	—	384,000	1	—	149,100	
共通仮設費(率計上)	式	1	—	2,077,000	1	—	844,200	1	—	813,000	1	—	2,173,000	
純工事費	式	1	—	25,706,449	1	—	23,007,834	1	—	16,229,000	1	—	27,524,858	
現場管理費	式	1	—	8,796,000	1	—	3,637,500	1	—	9,343,000	1	—	9,344,000	
工事原価	式	1	—	34,502,449	1	—	26,645,334	1	—	25,572,000	1	—	36,868,858	
一般管理費等	式	1	—	4,217,551	1	—	2,354,666	1	—	5,128,000	1	—	4,481,142	
工事価格	式	1	—	38,720,000	1	—	29,000,000	1	—	30,700,000	1	—	41,350,000	
消費税相当額	式	1	—	1,936,000	1	—	1,450,000	1	—	1,535,000	1	—	2,067,500	
工事費計	式	1	—	40,656,000	1	—	30,450,000	1	—	32,235,000	1	—	43,417,500	

比較表-3

手持ち資材の比較表(主要資材)

記入要領	1) 手持ち資材の状況については、主に当該工事で使用予定の資材を記入する。 2) 官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入して下さい。 3) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 4) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価欄は、主要資材相当品のみを記入する。 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。												
工事名	千歳大野道路外光ケーブル敷設工事												
品名	規格・型式	単位	使用工種等	入札時(当初の予定)				工事完成時(実績)				官単価※ (最終)	備考
				手持ち 数量	単価	本工事での 使用予定量	不足数量の 手当方法	手持ち 数量	単価	本工事での 使用量	不足数量の 手当方法		
	今回の工事は全て購入予定の為、手持ちはありません。							全て購入しました。					

比較表-4

資材購入先一覧(主要資材)の比較表

記入要領														
1)「入札者との関係」欄は、購入先予定業者との関係を記入。(例)協力会社、同族会社、資本提携会社等 2) 官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入してください。 3) 総額で値引きし、個々の品目の値引き単価が特定できない場合、実績単価欄は契約単価を記入し、総額値引き率を備考欄に記入する。 4) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 5) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価の欄は、主要資材(購入価格が工事費の約0.3%以上の資材)とし、軽微な資材は省略する。 6) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。														
工事名														
千歳大野道路外光ケーブル敷設工事														
工種種別	品名規格	単位	入札時(当初の予定)					工事完成時(実績)					※ 官単価 (最終)	備考
			数量	単価	購入先名			数量	単価	購入先名				
					業者名	所在地	入札者との 関係			業者名	所在地	入札者との 関係		
光ケーブル敷設工 本線	光ケーブル SM-20C	m	8,540	800	西日本電線	大分県	常時取引先	9,130	320	西日本電線	大分県	常時取引先	528	
	光ケーブル SM-8C	m	80	632	〃	〃	〃	985	253	〃	〃	〃	420	
	クロージャ 40C 以下直線用	個	5	100,000	〃	〃	〃	4	37,500	〃	〃	〃	66,400	
	クロージャ 40C 以下分岐用	個	5	100,000	〃	〃	〃	4	38,800	〃	〃	〃	72,200	
	クロージャ 再組 み立て材	組	2	5,000	〃	〃	〃	1	4,800	〃	〃	〃	15,600	
	クロージャ 再組 み立て材	組						1	13,000	昭電社	福岡県	当社傍系会 社	15,600	
	光コード単芯	本	12	2,200	西日本電線	大分県	常時取引先	12	1,200	西日本電線	大分県	常時取引先	1,590	
光ケーブル敷設工	クロージャ 取付 金物	組	2	13,130	架材産業	福岡県	〃	3	16,508	架材産業	福岡県	〃	15,620	
	光ケーブル SM-4C	m	143	576	西日本電線	大分県	〃	0	0	西日本電線	大分県	〃	320	
	クロージャ 取付 金物	組	1	13,130	架材産業	福岡県	〃	1	16,508	架材産業	福岡県	〃	15,620	
配管工	光コード単芯	本	4	2,200	西日本電線	大分県	〃	4	1,200	西日本電線	大分県	〃	1,590	
	ハンドホール	基	1	154,700	架材産業	福岡県	〃	1	251,440	架材産業	福岡県	〃	110,000	
通信配線工 本線	FEP-30	m	24	590	〃	〃	〃	110	168	〃	〃	〃	230	
	CPEV-S0.9-15P	m	7,570	535	西日本電線	大分県	〃	8,450	214	西日本電線	大分県	〃	443	
	CPEV-S0.9-10P	m	477	406	西日本電線	大分県	〃	520	162	西日本電線	大分県	〃	335	

通信配線工 本線	CPEV-S0.9-7P	m	406	333	〃	〃	〃	414	133	〃	〃	〃	275
	CPEV-S0.9-5P	m	8	284	〃	〃	〃	20	114	〃	〃	〃	233
	CPEV-S0.9-3P	m	692	229	〃	〃	〃	1,331	92	〃	〃	〃	188
	CPEV-S0.65-5P	m	74	225	〃	〃	〃	100	90	〃	〃	〃	190
	CPEV-S0.65-3P	m	318	189	〃	〃	〃	450	76	〃	〃	〃	160
	メタルクロージャ 10P	個	3	24,750	昭電社	福岡県	当社傍系会 社	3	24,750	昭電社	福岡県	当社傍系会 社	9,810
	メタルクロージャ 15P	個	22	24,750	〃	〃	〃	24	24,750	〃	〃	〃	9,810
	メタルクロージャ 取付金物	組	21	9,930	架材産業	福岡県	常時取引先	23	13,388	架材産業	福岡県	常時取引先	12,580
	光・メタルクロー ジャ 取付金物	組	3	17,960	〃	〃	〃	4	24,326	〃	〃	〃	22,240
	非常電話銘板 110*20*2t	枚	20	1,200	〃	〃	〃	20	1,200	〃	〃	〃	430
	非常電話銘板 300*80*1t	枚	40	3,500	〃	〃	〃	40	3,500	〃	〃	〃	3,280
	保安器箱 10P	面	2	20,000	〃	〃	〃	2	95,000	〃	〃	〃	84,000
	CV5.5sq-2C	m	1,970	278	昭電社	福岡県	当社傍系会 社	2,331	116	昭電社	福岡県	当社傍系会 社	197
	CV3.5sq-2C	m	4,990	203	昭電社	福岡県	当社傍系会 社	5,000	158	昭電社	福岡県	当社傍系会 社	142
	電源配線工 本線	ケーブル接続材 92-JB1	個	1	7,090	架材産業	福岡県	常時取引先	16	5,620	架材産業	福岡県	常時取引先
スパイラルスリー ブ 10mm 黄色		本						200	144	〃	〃	〃	0
ケーブル表示札 アクリル銘板文字 入り		枚						235	1,350	〃	〃	〃	0
メタル用コネク タ UYP		箱						50	4,100	〃	〃	〃	0
メタル用コネク タ UYV		箱						50	3,600	〃	〃	〃	0
圧着工具		本						5	11,200	〃	〃	〃	0
直材FSQ-30		個						10	625	〃	〃	〃	0
ベルマウス FM-30		個						5	230	〃	〃	〃	0
アングルレッホ ル	本						20	2,650	〃	〃	〃	0	
ネオシール	個						50	450	〃	〃	〃	0	

比較表-5

手持ち機械の比較表(主要機械)

記入要領	1) 本様式には、主に当該工事に使用する予定の手持ち機械の状況を記入して下さい。 2) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。 3) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価の欄は、主要機械相当品(各機械経費が工事費の約0.3%以上の機器)のみでよい。 4) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。										
工事名	千歳大野道路外光ケーブル敷設工事										
機械名称	規格・型式・能力・年式	単位	入札時(当初の予定)				工事完成時(実績)			官単価※ (最終)	備考
			数量	単価	メーカー名	現在の利用状況	数量	単価	メーカー名		
OTDR	AQ7250	台	1	-	安藤電気	大分支店に保管	1	-	安藤電気		

比較表-6

労務者の確保計画の比較表

工 種	職 種	入札時(当初の予定)			工事完成時(実績)			※ 官単価 (最終)	備 考
		単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等	単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等		
有線通信設備工	電工	23,000	322	協力業者 (有)九大電設	28,000	135	協力業者 (有)システム電建	14,000	
〃	世話役	16,000	5	協力業者 岡本土木(株)	16,000	8	協力業者 川野総合土木(株)	18,500	
〃	配管工	14,000	1	協力業者 岡本土木(株)	28,000	1	協力業者 (有)システム電建	14,000	
〃	普通作業員	14,000	10	協力業者 岡本土木(株)	14,000	24	協力業者 川野総合土木(株)	11,300	
〃	特殊作業員	20,000	5	協力業者 岡本土木(株)	20,000	0	協力業者 川野総合土木(株)	15,100	
〃	運転手(特殊)	22,000	9	協力業者 岡本土木(株)	22,000	8	協力業者 川野総合土木(株)	17,200	
交通誘導	交通誘導員A	10,000	2	協力業者 (有)NES	15,000	8	協力業者 (有)NES	7,300	

- 1) 下請け労務者と自社労務者を下記のように区分して下さい。
 ・下請け労務者は()なしで記入する。
 ・自社労務者は()内に記入する。
 2) 下請け会社との関係も明記する。
 3) 労務単価は必ず記入する。
 4) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用して下さい。
 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

"	交通誘導員B	10,000	7	協力業者 (有)NES	12,000	32	協力業者 (有)NES	7,100	

比較表-8

建設副産物の搬出等の比較表

建設副産物の名称	入札時(当初の予定)		工事完成時(実績)		官積算価格※ (最終)	備考
	受け入れ予定箇所	受け入れ価格	受け入れた箇所	受け入れた価格		
記入要領	1) 当該工事で発生する、すべての建設副産物について記入してください。 2) 記入してある名称以外の建設副産物がある場合は、名称を追加して記入して下さい。 3) 受け入れ価格は、建設副産物の処分のみに必要な価格を記入してください(収集、運搬等に必要な費用を除く)。 4) ※印の官積算価格欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。					
工事名	千歳大野道路外光ケーブル敷設工事					
コンクリート塊	今回工事では発生せず		今回工事では発生せず			
アスファルト・コンクリート塊	(有)ちとせ	10,000	(有)ちとせ	9,668		
建設発生木材	今回工事では発生せず		今回工事では発生せず			
建設発生土	豊後大野市大野町 片島竹ノ迫 指定土 砂置き場	0	豊後大野市大野町 片島竹ノ迫 指定土 砂置き場	0		

Ⅲ 工事費内訳		注)消費税抜きで記入してください			金額単位:千円	
費目	元請+元請外注	元請	元請外注 合計	1 有限会社 システム電建 通信	2 株式会社 川野 総合土木 建設官路工不協	
① 直接工事費	14,505	9,637	4,868	3,808	1,060	
(1) 材料費	9,707	9,587	120	0	120	
(2) 労務費	4,448	0	4,448	3,808	640	
(3) 機械機具等損料	350	50	300	0	300	
(4) 貸与機械等現場修理・管理費	0	0	0	0	0	
(5) 直接経費	0	0	0	0	0	
A 特許使用料	0	0	0	0	0	
B 光熱電力使用料	0	0	0	0	0	
(6) 特殊経費	0	0	0	0	0	
② 間接工事費	11,067	9,145	1,922	1,692	230	
(1) 共通仮設費	1,713	1,673	40	0	40	
イ 運搬費	40	0	40	0	40	
A 器機材	0	0	0	0	0	
1 仮設材①	0	0	0	0	0	
2 仮設材②	0	0	0	0	0	
3 仮設材③	0	0	0	0	0	
4 敷鉄板類①	0	0	0	0	0	
5 敷鉄板類②	0	0	0	0	0	
6 敷鉄板類③	0	0	0	0	0	
7 橋梁等架設支保工	0	0	0	0	0	
8 橋梁用架設タワー等	0	0	0	0	0	
9 橋梁用仮設桁設備	0	0	0	0	0	
10 積み込み取り卸し費	0	0	0	0	0	
11 トンネル用スライドセントル	0	0	0	0	0	
12 その他	0	0	0	0	0	
B 建設機械20t未満	40	0	40	0	40	
① 自走・貨物自動車等による運搬	40	0	40	0	40	
② 日々回送による運搬	0	0	0	0	0	
③ 現場内小運搬	0	0	0	0	0	
C 建設機械20t以上	0	0	0	0	0	
① 貨物自動車等による運搬	0	0	0	0	0	
② 自走による運搬	0	0	0	0	0	
③ 日々回送による運搬	0	0	0	0	0	
④ 現場内小運搬	0	0	0	0	0	
ロ 準備費	0	0	0	0	0	
A 準備・測量等	0	0	0	0	0	
B その他	0	0	0	0	0	
ハ 事業損失防止施設費	0	0	0	0	0	
ニ 安全費	911	911	0	0	0	
安全留意度 「建設工事公衆災害防止対策要綱」 について選択		2 通常の安全対策				
A 安全管理費	407	407	0	0	0	
工事区域内全般の安全管理上の監 ① 視、あるいは連絡等に要した費用(稼 働日の保安委員等の費用を含む)	5	5	0	0	0	
② 不稼働日の保安委員等の費用	0	0	0	0	0	
③ 標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード 等の安全施設類の設置、撤去、補修に要し た費用及び使用期間中の損料	332	332	0	0	0	

④	夜間作業を行う場合における照明に要した費用	0	0	0	0	0
⑤	酸素欠乏症の予防に要した費用	0	0	0	0	0
⑥	河川、海岸工事における救命艇に要した費用	0	0	0	0	0
⑦	粉塵作業の予防に要した費用	0	0	0	0	0
⑧	長大トンネル等における防火安全対策に要した費用	0	0	0	0	0
⑨	安全用品等の費用	50	50	0	0	0
⑩	安全委員会等に要した費用	20	20	0	0	0
⑪	国土交通省(港湾・航空)発注工事における再圧装置設置、撤去、維持管理に要した費用	0	0	0	0	0
B	交通誘導員等	504	504	0	0	0
C	鉄道空港安全管理	0	0	0	0	0
D	美化等	0	0	0	0	0
E	高圧作業予防	0	0	0	0	0
F	航路安全標識・警戒船	0	0	0	0	0
G	ダム発破・監視費	0	0	0	0	0
H	トンネル工事における呼吸用保護具	0	0	0	0	0
I	その他	0	0	0	0	0
ホ	役務費	0	0	0	0	0
A	土地の借上費	0	0	0	0	0
B	電力用水等基本料	0	0	0	0	0
ハ	技術管理費	608	608	0	0	0
A	品質管理費等	418	418	0	0	0
B	特別な品質管理	0	0	0	0	0
C	現場条件等費用	0	0	0	0	0
D	品質証明(社内検査)に要した費用	50	50	0	0	0
E	各種調査等	90	90	0	0	0
F	各種台帳等	50	50	0	0	0
G	その他	0	0	0	0	0
ト	営繕費	0	0	0	0	0
A	建物費	0	0	0	0	0
B	借上費	0	0	0	0	0
C	宿泊費	0	0	0	0	0
D	労働者送迎費	0	0	0	0	0
E	監督員詰所等	0	0	0	0	0
F	美化等1	0	0	0	0	0
G	美化等2	0	0	0	0	0
H	その他	0	0	0	0	0
I	労働者海上輸送費	0	0	0	0	0
チ	その他	154	154	0	0	0
リ	技術者間接費(電気工事、光ケーブル工事の場合)	0	0	0	0	0
(2)	補償費	0	0	0	0	0
(3)	現場管理費	9,354	7,472	1,882	1,692	190
イ	労務管理費	0	0	0	0	0
ロ	安全訓練等費用	80	80	0	0	0
A	安全・衛生に要した費用	50	50	0	0	0
B	研修訓練等に要した費用	30	30	0	0	0
ハ	租税公課	15	15	0	0	0
ニ	社員等従業員給料手当	5,340	4,113	1,227	1,125	102
ホ	退職金	0	0	0	0	0

△ 保険料	107	107	0	0	0
① 火災保険	0	0	0	0	0
② 工事保険	0	0	0	0	0
③ 自動車保険	0	0	0	0	0
④ 組立保険	107	107	0	0	0
⑤ 法定外の労災保険	0	0	0	0	0
⑥ その他損害保険	0	0	0	0	0
ト 法定福利費	702	343	359	296	63
A 労災保険料	111	54	57	45	12
B 雇用保険料	44	17	27	21	6
C 健康保険料	174	58	116	88	28
D 厚生年金保険料	243	84	159	142	17
E 建退共制度掛金	130	130			
F 船員保険料	0	0	0	0	0
チ 福利厚生費	466	466	0	0	0
リ 補償費	0	0	0	0	0
ヌ 通信交通費	964	964	0	0	0
ル 交際費	240	240	0	0	0
ロ 寄付金	0	0	0	0	0
ワ その他	1,153	1,144	9	0	9
カ 外注一般管理費等	287		287	271	16
③ 外注費(下請欄は、外注一般管理費等の自動計算値)		6,790	外注一般の計算値=>	271	16
④ 一般管理費等 自動計算値 = 5128	5,128	5,128			
⑤ 鋼橋等工場製作費(電気工事・光ケーブル工事の場合は、機器費)	0	0	0	0	0
⑥ 別途調査等工事価格	0	0	0	0	0
⑦ 工事価格	30,700	30,700	6,790	5,500	1,290
⑧ 消費税相当額(下請欄は、下請工事価格の自動計算値)	1,535	1,535	工事価格の計算値=>	5,500	1,290
⑨ 工事請負金額	32,235	32,235			
⑩ 営繕費のうち、地代に要した費用	0	0	0	0	0
⑪ 準備費のうち伐開・除根・除草等に要した費用	0	0	0	0	0
⑫ 仮設費(直工)にてイメージアップに要した費用	0	0	0	0	0
⑬ 二次下請負者の数	0		0	0	0
⑭ 二次下請負者の外注一般管理費等の合計	0		0	0	0
⑮ 二次下請負者への発注工事価格の合計	0		0	0	0
⑯ 延実人員数と作業日数					
(1) 労働者延人員	176	0	176	136	40
(2) (1)のうち通勤労働者延人員	176	0	176	136	40
(3) 技能関係等従事者延人員	176	0	176	136	40
(4) 技術事務関係社員等従業員延人員	148	148	0	0	0
(5) 作業日数			43	35	8
⑰ 現場管理費_その他のうち、事務用品費に要した費用	331	331	0	0	0
⑱ 現場管理費_その他のうち、動力・用水光熱費に要した費用	447	447	0	0	0
⑲ 安全費_その他のうち、水雷・傷害保険に要した費用	0	0	0	0	0

黄色塗りつぶし部分:入力必要箇所
緑色塗りつぶし部分:黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可)
その他の部分:シートを書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
パスワードが要求される場合の対処方法:
入力箇所が間違っているためであり、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。

工事名
千歳大野道路外光ケーブル敷設工事